

令和元年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち							
施策No.	34	施策名	水と緑の保全と活用							
主管課名	環境安全課									
関係課名	農林水産課、埋没林博物館、水族博物館、生涯学習・スポーツ課、上下水道課									
施策が目指すことが	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山から海までの自然環境が保全されています。</li> <li>・森林の持つ保水能力やCO2の吸収など多面的機能が維持・増進されています。</li> <li>・多様な生物が生息し、生態系が保全されています。</li> <li>・豊かな自然を体感し、親しむ場が整備されています。</li> </ul>									
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「魚津の水循環」と生物多様性について学びます。</li> <li>・水と緑を守る活動に参加し、協力をします。</li> <li>・豊かな水と緑の恵みを体感し、自ら情報発信します。</li> </ul>								
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の保全など生態系のバランスを保つための施策を行います。</li> <li>・水と緑の保全のための啓発を行います。</li> <li>・自然保護ボランティアの育成を行います。</li> </ul>								
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・団体(県、森林組合、ボランティア団体、企業、農協、漁協等)と連携し、森林の保全、水辺地の保全など健全な水循環の保全を図るための取組みを行います。</li> </ul>								
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	水循環の保全								
	基本事業②	生態系等の保全								
	基本事業③	豊かな自然の活用の推進								
	基本事業④									
施策のトータルコスト	区 分			単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数			本	11 (11)	11 (11)	11 (10)	10 (10)	11 (11)	11 (11)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	4 (4)	4 (4)	6 (6)	6 (6)	7 (7)	7 (7)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	3 (3)	3 (3)	3 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	2 (2)	2 (2)				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)			千円	38,240	41,005	79,970	32,313	27,240	15,303
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計			千円	8,003	5,019	40,403	30,259	25,101	13,676
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計			千円	21,759	29,168	386	431	447	191
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計			千円	5,096	3,949	39,181	1,623	1,692	1,436
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計			千円	3,382	2,869				
	C. 施策に携わる正規職員数合計			人	24	25	24	25	20	21
	D. 事務事業に要する年間総時間			時間	7,320	6,560	5,780	6,080	4,160	3,870
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)			千円	32,076	27,427	23,762	24,484	16,690	16,850	
F. トータルコスト (B+E)			千円	70,316	68,432	103,732	56,797	43,930	32,153	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の			円	878	950	1,873	763	647	367
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)									
	同 上			円	736	636	556	578	396	404
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)									
同 上			円	1,614	1,586	2,429	1,341	1,043	772	
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)										
参 考	1時間あたりの平均人件費			円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)			人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	34	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名	①水循環の保全		
基本事業の目的(意図)	適正な森林整備により、森林のもつ水源涵養機能などの多面的機能の維持・増進を図るとともに、海の藻場などを含む水辺地の保全・再生を進め、健全な水循環の保全に努めます。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津の水循環事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魚津の水循環」の理解を深めるため、市民ガイドと共に、一般市民を対象とした体験ツアーを6回開催しました。</li> <li>・東山円筒分水槽周辺の整備(草刈、土砂の搬出)を行いました。また、その周辺区域の活用法を検討しました。</li> </ul> <p>【水資源調査研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田等を利用した地下水涵養事業を東蔵・平沢地内の1.92haにおいて継続実施しました。</li> <li>・「魚津の水循環に関する調査、研究」をテーマとした富山大学との共同研究については、前年度に引き続き「魚津の水循環と農林水産業との関連性」に関する調査研究を、庁内関係部課と協議、検討しながら実施しました。</li> </ul> <p>【森林病害虫等防除事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内唯一の「航行目標保安林」として指定され、魚津市の歴史的価値を有する天神山において、松林の保全活動(松16本への薬剤注入)を実施しました。</li> </ul> <p>【水と緑の森づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理並びに利用について、地域の合意形成が図られている森林を対象として地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。</li> </ul> <p>【ボトルウォーター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境保全基金」へ「うおづのうまい水」の売上げ実績による寄付(196,820円)を行いました。なお、「うおづのうまい水」が「モンドセレクション2019 最高金賞」を受賞しました。(3年連続受賞)</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
水循環が保全されていると思う市民の割合	%	—	52.0	55.1	64.0	68.0	72.0	76.0	80.0
					53.8	56.9	54.7	49.1	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 水資源調査研究事業	1,583,000	1,444,965	138,035	B	環境安全課
2	一般会計	環境基本計画推進事業	151,000	86,843	64,157	-	環境安全課
3	一般会計	○ 魚津の水循環事業	2,491,000	1,448,129	1,042,871	A	環境安全課
4	一般会計	○ 東山円筒分水槽周辺整備事業	1,000,000	508,225	491,775	B	環境安全課
5	一般会計	森林病害虫等防除事業	385,000	381,600	3,400	-	農林水産課
6	一般会計	○ 水と緑の森づくり事業	8,368,000	8,367,000	1,000	A	農林水産課
7	水道事業会計(収益的支出)	○ ボトルウォーター事業	1,442,000	1,439,184	2,816	B	水道課
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			15,420,000	13,675,946	1,744,054		

基本事業概要シート②

施策 No.	34	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名	②生態系等の保全		
基本事業の目的(意図)	野生生物や生態系の保全を進め、生物多様性を確保します。また、自然の恵みや資源を利活用しながら自然との共生を目指します。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【自然保護関係事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>池の尻自然環境保全地域の巡視を行い、適正な保全に努めました。(道路状況(崩土・倒木等)により、3回実施)</li> </ul> <p>【生物多様性地域戦略推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の保全に関する周知・啓発のため、自然観察ガイドマップ(小菅沼編:1,000部)の作成、図書館で関連図書コーナーを設けたブックフェアを開催するとともに、パネル展示を実施しました。また、自然観察会(別又自然観察池:参加者:22人)・里山体験会(小菅沼・ヤギの杜 参加者:26人)の開催、環境フェスティバル(来場者:2,500人)においてネイチャークラフト・木工工作ブースを設置し、市民等に自然や生きものとの触れ合いの機会を提供しました。</li> </ul> <p>【水族館博物館事業(生物調査事業)】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚津市を中心に富山県内の生物(魚類・両生類・爬虫類・無脊椎動物等)の調査を行いました。</li> </ul> <p>【埋没林博物館調査研究事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
年間生物調査回数	回	30	40	41	42	44	46	48	50
豊かな自然環境が保全されていると思う市民の割合	%	52.1	42.9	45.1	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0
					42	51	40	63	
					44.7	50.7	49.2	40.1	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 自然保護関係事業	78,000	35,725	42,275	B	環境安全課
2	一般会計	○ 生物多様性地域戦略推進事業	426,000	154,968	271,032	B	環境安全課
3	水族館事業特別会計	○ 水族館博物館事業(施策30③再掲)	(9,819,000)	(9,184,476)	(634,524)	A	水族博物館
4	一般会計	埋没林博物館調査研究事業(施策30③再掲)	(542,000)	(540,361)	(1,639)	-	埋没林博物館
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			504,000	190,693	313,307		

基本事業概要シート③

施策 No.	34	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名	③豊かな自然の活用の推進		
基本事業の目的(意図)	あらゆる世代が良好な自然環境の大切さを学び、その価値を認め、豊かな環境の恵みを活用するとともに、市民等が協働して保全活動を行う仕組みや体制づくりを推進します。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【県立・県定公園施設維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僧ヶ岳県立自然公園内の林業施設、松倉城跡県定公園(入城門広場や升方緑地施設など)、片貝県定公園(バイオトレなど)等に関する維持管理を実施しました。また、僧ヶ岳登山口道路の整備(繰越事業)を行いました。</li> </ul> <p>【里山林オーナー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山(約42,000㎡)を市で借り入れ、約1,000~3,000㎡の区画に小分けにし、森林浴などの自然とのふれあいを希望する人に貸し出しました。令和元年度は14区画を貸し出しました。</li> </ul> <p>【市史編纂動物・植物・地質調査事業(魚津市史 自然編)】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚津市史(自然編)を刊行しました。</li> </ul> <p>【生物多様性地域戦略推進事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全の周知・啓発のため、自然観察ガイドマップの作成、図書館で関連図書コーナーを設けたブックフェアを開催するとともに、パネル展示を実施しました。また、自然観察・環境保全等体験会の開催、環境フェスティバルにおいてネイチャークラフト・木工工作ブースを設置し、市民の自然や生きものとの触れ合いの機会を提供しました。</li> </ul> <p>【環境保全啓発事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第25回環境フェスティバル」(令和元年10月19日(土) ありそドーム)を〇〇魚津と同時開催し、企業、団体等による環境美化及び保全活動を紹介するとともに、市民の環境保全に対する意識の啓発に努めました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
自然を体感し満喫することができていると感じている市民の割合	%	25.8	28.3	29.5	31.0 28.7	32.0 29.8	33.0 34.3	34.0 23.3	35.0

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 県立・県定公園施設維持管理事業	1,686,000	1,435,897	250,103	B	農林水産課
2	予算なし	里山林オーナー事業	0	0	0	-	農林水産課
3	一般会計	○ 生物多様性地域戦略推進事業(施策34②再掲)	(426,000)	(154,968)	(271,032)	B	環境安全課
4	一般会計	○ 環境保全啓発事業(施策35③再掲)	(3,871,000)	(3,344,615)	(526,385)	B	環境安全課
5							
6							
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
合計			1,686,000	1,435,897	250,103		

施策 No.	34	施策名	水と緑の保全と活用
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水循環の保全】</p> <p>◆水循環の保全に関する成果指標「水循環が保全されていると思う市民の割合」では、平成29年度をピークに2年連続減少しています。</p> <p>【②生態系等の保全】</p> <p>◆生態系の保全推進のため平成26年3月に「生物多様性うおづ戦略」を策定しました。令和元年度の市民意識調査結果では、生物多様性の認識(意味まで分かる人の割合)が、37.8%と低い状況にあるものの、昨年より7ポイント増加しています。</p> <p>◆令和元年度の市民意識調査結果では、市民の約4割が、「森林や里山に関する豊かな自然環境が保全されている」と感じています。</p> <p>【③豊かな自然の活用の推進】</p> <p>◆令和元年度の市民意識調査結果では、自然を体感し、満喫することができていると感じる市民の割合は、平成30年度は市の目標値(33.0%)を超えたものの、令和元年度は10ポイント以上減少しています。</p> <p>◆本市にある中部山岳国立公園、僧ヶ岳県立自然公園、松倉城跡県定公園、片貝県定公園などの国や県の指定を受けた自然公園は、適正な保護、管理が行われています。</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①水循環の保全】</p> <p>&lt;水資源調査研究事業&gt;</p> <p>◆富山大学との共同研究は、庁内関係部課と協議、検討し、「魚津の水循環と農林水産業との関連性」をテーマとしたほか、標高の高い箇所での採水、藻場の再生・機焼け等に係るサンプリング調査、片貝上流域の休耕田を利用した酒養田における浸透量・効果などについて調査・研究を実施しました。</p> <p>◆休耕田等を利用した地下水涵養事業については、魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との共同により、東蔵地内の1.92haにおいて農閑期(10月～3月)の水張りを実施し、地下水保全意識の高揚に努めました。</p> <p>&lt;水と緑の森づくり事業、森林病虫害等防除事業&gt;</p> <p>◆市内12地区、24haの里山について整備を行い、野生動物との棲み分けや水源涵養・山地災害防止等に貢献しました。また、天神山の松16本に対し、松くい虫防除の薬剤樹幹注入を行うことにより、周囲への被害木の拡大が減少しました。</p> <p>&lt;魚津の水循環事業&gt;</p> <p>◆魚津の水循環を知り、理解を深めるために「水の学び舎ツアー」を6回開催し、延べ107人が参加しました。また、水循環の仕組みをわかりやすく伝える「水循環プロモーション」を北陸自動車道有磯海SAで開催しました。</p> <p>【②生態系等の保全】</p> <p>&lt;埋没林博物館調査研究事業&gt;</p> <p>◆魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。</p> <p>&lt;水族館博物館事業(生物調査事業)&gt;</p> <p>◆展示や普及活動の基礎となる生物調査を継続的に行いました。</p> <p>&lt;自然保護関係事業&gt;</p> <p>◆富山県池の尻自然環境保全地域の巡視調査を3回実施し適正な保全に努めました。なお、現地付近の道路が8月以降崩土・倒木等により通行困難となったため巡視計画を変更することになりました。</p> <p>【③豊かな自然の活用の推進】</p> <p>&lt;県立・県定公園施設維持管理事業&gt;</p> <p>◆片貝県定公園内市道南又線のマイカー通行自粛区間の設定やレンタサイクルの貸出等により、車両の乗り入れの抑制に努めたほか、片貝山ノ守キャンプ場を適切に管理し、豊かな自然とのふれあいや観察等の機会の提供に努めました。また、僧ヶ岳登山道の整備を行いました。</p> <p>&lt;市史刊行・普及事業(魚津市史 自然編)&gt;</p> <p>◆魚津市史(自然編)を刊行しました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水循環の保全】</p> <p>◆富山大学との水資源に係る共同研究は、「魚津の水循環と農林水産業との関わり」をテーマとし、引き続き、森林と里山、沿岸部の藻場に関する調査・研究を実施していきます。なお、共同研究は令和元年度をもって一旦休止し、これまでに蓄積された研究データの整理と活用方法を検討することとします。</p> <p>◆東山円筒分水槽周辺にポケットパークを整備します。また、その周辺区域の活用法を引き続き検討していきます。</p> <p>◆魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との連携による地下水涵養事業は、その効果や面積の拡大が課題であり、対応を検討していきます。</p> <p>◆市民、事業所等への水の利用や地下水の保全等の啓発に努めるとともに、水循環プロモーション事業、水の学び舎事業を実施していきます。</p> <p>◆水循環を広く市民に伝え保全していくため、市民向けツアーの参加者数の増加に努めるとともに、プロモーション事業として水循環遺産の解説板や標柱、遺産マップや解説パンフレットの活用を図ります。</p> <p>◆カシノナガキクイムシによる被害は終息しましたが、多くの枯損木が残存しており、景観を損ねたり林道の通行の支障になったりしています。また、手入れ不足となっている里山が多く、野生鳥獣による農作物被害の一因となっていることから、引き続き「水と緑の森づくり税」等を活用した事業を推進していきます。</p> <p>◆モンドセレクション最高金賞受賞を契機に、「うおづのうまい水」の販売促進及び地域PRのツールとしての取組を進めます。</p> <p>【②生態系等の保全】</p> <p>◆魚津市を中心に富山県内の生物調査(魚類・両生類・爬虫類・無脊椎動物等)の調査・研究活動を積極的に進め、結果を水族館の展示や普及活動に反映し、市民や来館者等に情報提供します。また、別又谷酒養田(ピオトーブ)の生物(両生類・昆虫類等)・植物調査を継続的に行い、結果を発信していきます。</p> <p>◆野生鳥獣による農作物等の被害は拡大しており、対策の強化、充実を図る必要があります。実施隊と行政に加え、被害発生地域等の住民や農林関係団体とも連携し、対策の強化を図ります。</p> <p>◆富山県池の尻自然環境保全地域(ミズバショウ純群落)の巡視管理を行うにあたり、林道が崩土・倒木等により車両通行が困難な状況にありますが、保全に向けた監視活動を継続して実施していきます。</p> <p>【③豊かな自然の活用の推進】</p> <p>◆環境フェスティバルの開催を通じて、環境保全の啓発・意識の高揚を図っていきます。</p> <p>◆今後も継続的に、県立自然公園や県定公園などの整備・保全や景観・美観の保全に努めていきます。</p> <p>◆生物多様性うおづ戦略に定めた各種施策や重点的取組を実施し、生物多様性に対する理解と連携、協力を得るための普及・啓発に努めていきます。</p> <p>◆本市の自然と歴史の関わりを明らかにした魚津市史(自然編)を活用し普及講座等を開催することで、市民の地域に対する愛着や理解を深め市民自ら行うまちづくりに役立てます。</p> <p>◆今後も魚津の森づくりと海づくりの取組を進めます。</p>			